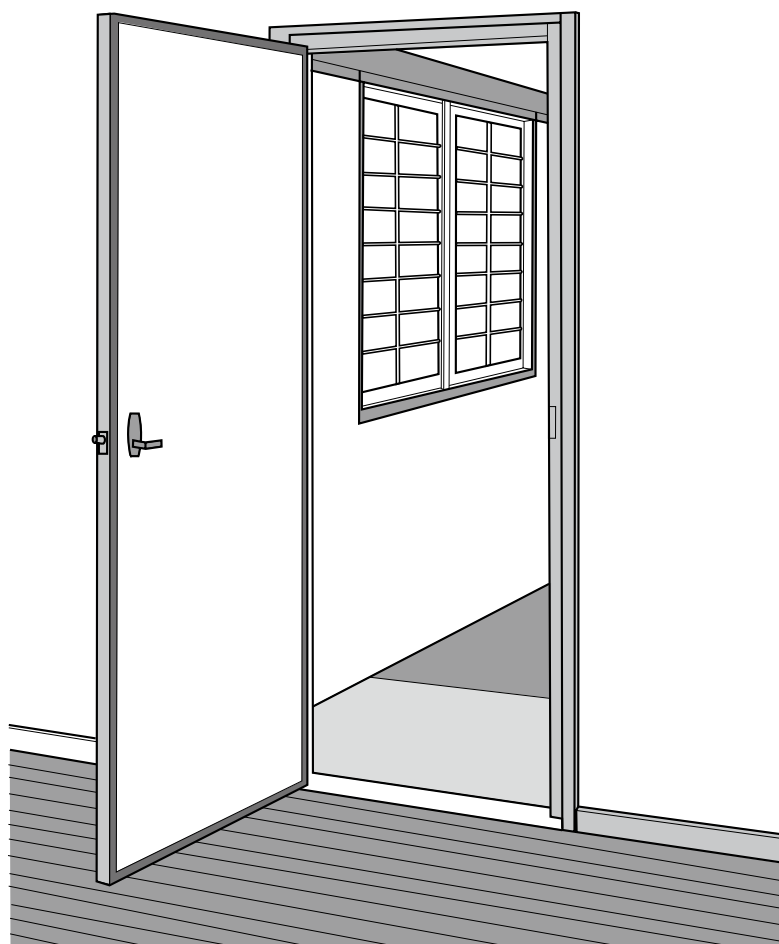


リビング建材 和室用建具(新和風SL)戸襖ドア・引戸

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは「リビング建材商品」のご使用およびお手入れはしないでください。
- この取扱い説明書は、使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	1
■ 特に注意していただきたいこと	2
■ ドアの取外し方・取付け方について	3
■ 襖紙の張替え方法について(ドア・引戸共通)	4
■ 戸襖ドア 調整方法について	5~7
■ 戸襖引戸 調整方法について	8
■ 商品保証について	9

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のために、必ずお守りください。

「リビング建材商品」のご使用およびお手入れの際は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。


もしこの取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、トステム株式会社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。
従って、「リビング建材商品」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口
商品全般	お買い求めの工務店・販売店、又はトステム(株)お客さま相談室 TEL(03)3638-8181 フリーダイヤル ☎(0120)126-001

警告用語の種類と意味

- この取扱い説明書では、危険度(又は事故の大きさ)によって、次の2段階に分類しています。
警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

警告用語	意味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合に用います。

特に注意していただきたいこと ※安全のため、必ずお守りください。

▲ 注 意

- 本体吊込み後、本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。
軸が下がっていないと本体脱落の原因になります。
- 本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あることを確認してください。
本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になったり、本体と枠の間にすき間が生じたりします。
- 本体に寄りかからないでください。本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

.....お願い.....

- ※ 本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・ 湿気の多い場所本体のソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※ 長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。
本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

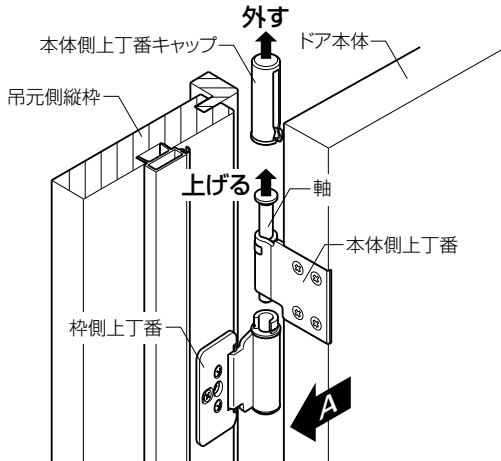
ドアの取外し方・取付け方について

▲ 注 意

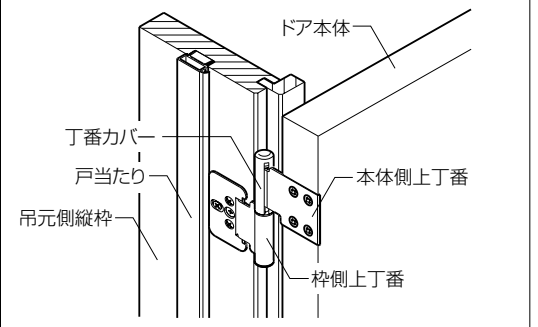
- 本体吊込み後、本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。軸が下がっていないと本体脱落の原因になります。

ドアの取外し方

- ① 本体側上と下の丁番キャップを上げます。
 - ② ドアを持ち上げて外します。(右図参照)
- ※ 枠などに当たってドアが外せない場合は、本体側上丁番のキャップを外し、軸を止まるまで上げてA方向にドアを外します。



■ 取付け完成図

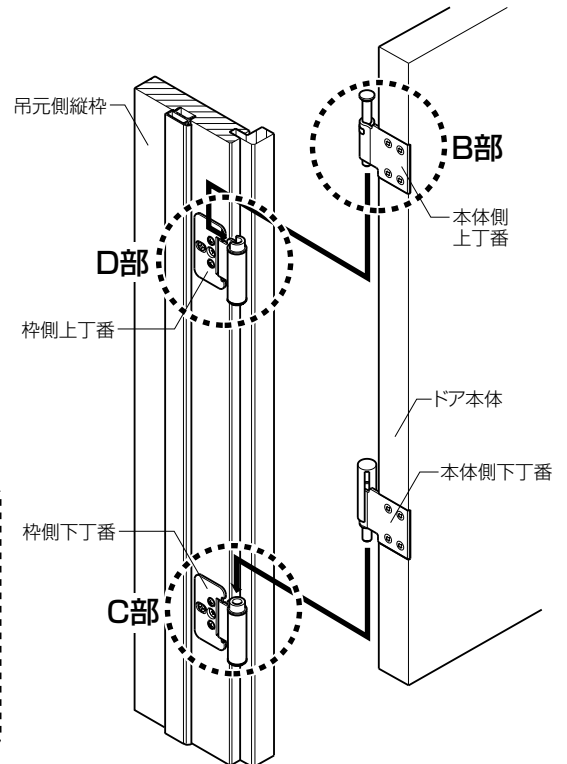


ドアの取付け方

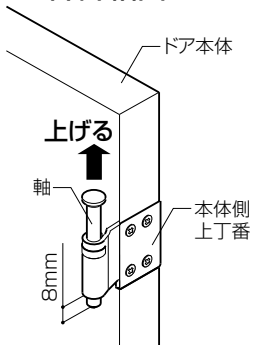
- ① 本体側下丁番のカバーを上げます。
 - ② 本体側上丁番のカバーを外してください。
 - ③ 本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(B部)
- ※ 軸は8mm程残した位置で止まります。
- ④ 本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(C部)
- ※ 本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑤ 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
 - ⑥ 本体側上丁番の軸を止まるまで下げてください。(E図)
 - ⑦ 本体側上丁番のカバーを取付けます。
- ※ 枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑧ 本体側下丁番のカバーを下げます。
- ※ 枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

● お願い

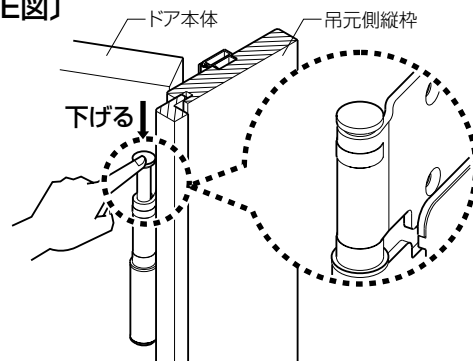
- ※ 本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。
- ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・ 湿気が多い場所
- 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※ 長期にわたる本体の立て置き保管はせず、寝かせた状態での保管としてください。本体のソリ・ねじれなどの原因になります。



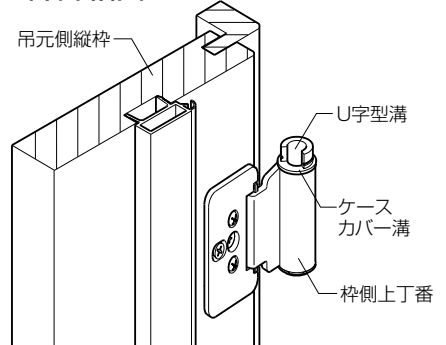
■ B部詳細図



(E図)



■ D部詳細図



襖紙の張替え方法について(ドア・引戸共通)

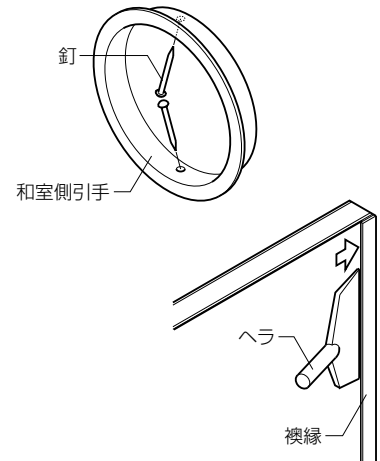
襖紙の張替えに必要なもの

- ・マイナスドライバー ・プラスドライバー ・ヘラ
- ・カッター ・必要幅の襖紙 ・市販の澱粉糊 ・水

襖紙の張替え方法

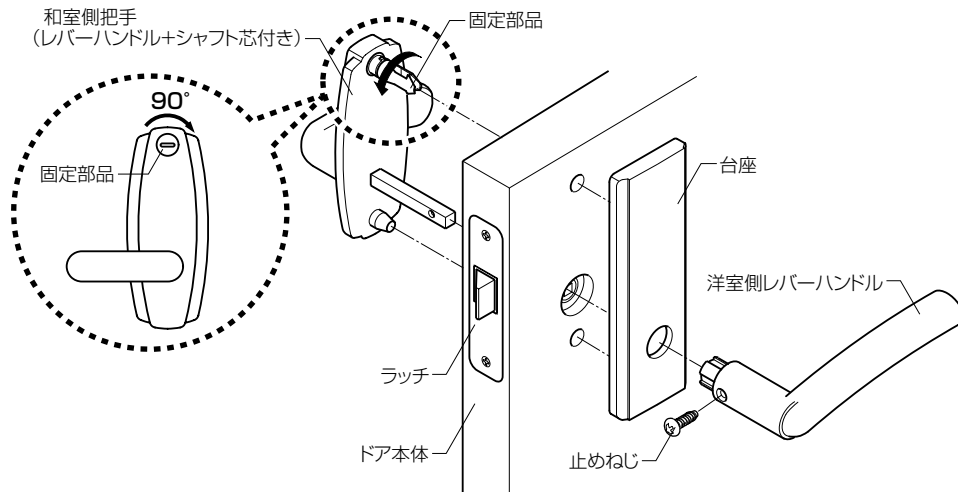
※現場手配した襖紙を張った場合(K-2)は、次回の張替え時から、上に張増しすることができます。

- ①本体を枠から外します。(P3「ドアの取外し方」参照)
 - ②把手を外します。(引戸の場合は、右図のように釘で固定してありますので、釘をぬいて和室側の引手を外してください。)
 - ③新しい襖紙を、上下・左右共に戸襖よりも10mm程度大きく裁断します。
 - ④新しい襖紙を市販の澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で張ります。
(糊は用意してください。)
 - ⑤襖紙を襖縁の内側に納まるように、カッターでカットします。
 - ⑥襖紙を襖縁の内側にヘラなどで押込んでください。(右図参照)
- ※襖縁ごと張替える場合は、襖縁をはがし、新しい襖紙を張ってから最後に新しい襖縁を張付けます。(襖縁は別途用意してください。)
- ⑦本体を吊込んで把手を取付けてください。(引戸の場合は、引手を取付けてください。)



把手の取外し方法

- ①洋室側レバーハンドルの止めねじを外し、レバーハンドルを外します。
- ②固定部品をマイナスドライバーで90°方向に回転させると台座が外せます。
- ③再度取付ける時は、固定部品をマイナスドライバーで元の状態にしてから取付けを行ってください。



戸襖ドア 調整方法について

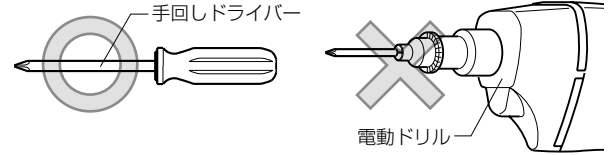
戸襖ドア調整方法

- ご使用の間、納まりに関して不都合が生じた場合は、下記の要領で調整を行ってください。

※この『取扱説明書』に掲載されていない調整については、無理に調整しようとすると扉の落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店又は、弊社最寄りの営業窓口までご相談ください。

建付け調整

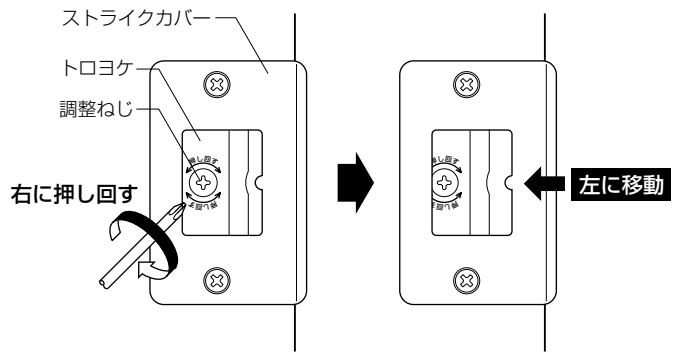
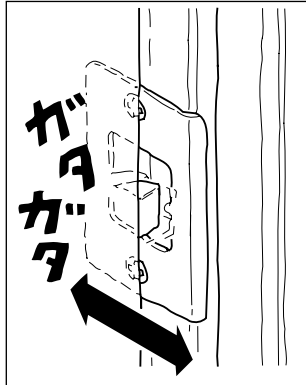
- 建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。電動ドリルを使用した場合は、ねじ頭が壊れるおそれがあります。



ストライクによる建付け調整

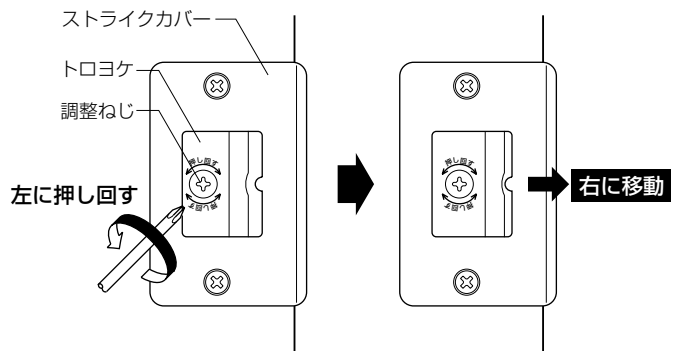
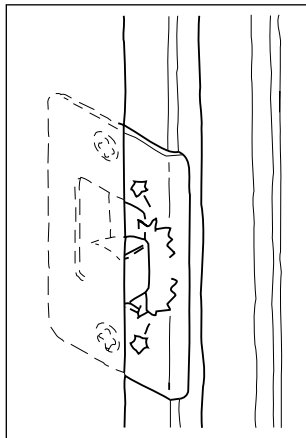
① ラッチがストライクの中でガタつく

- 調整ねじを押しながら、右に回してください。無段階で移動します。



② ラッチがかからない

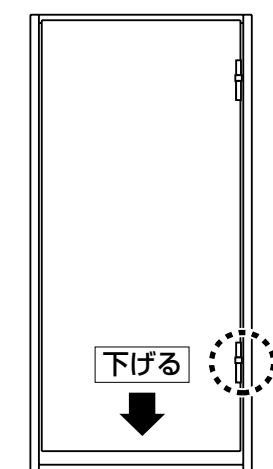
- 調整ねじを押しながら、左に回してください。



丁番による建付け調整

不具合例

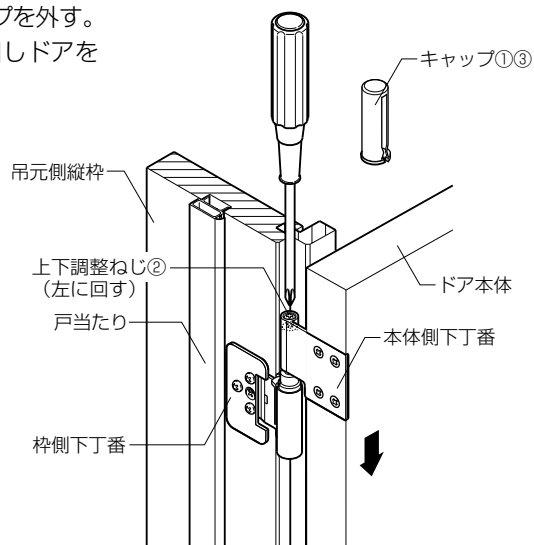
①ドアの上部が枠に当たる。



(調整範囲 下3mm)

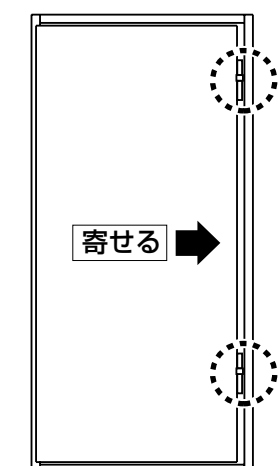
調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。



不具合例

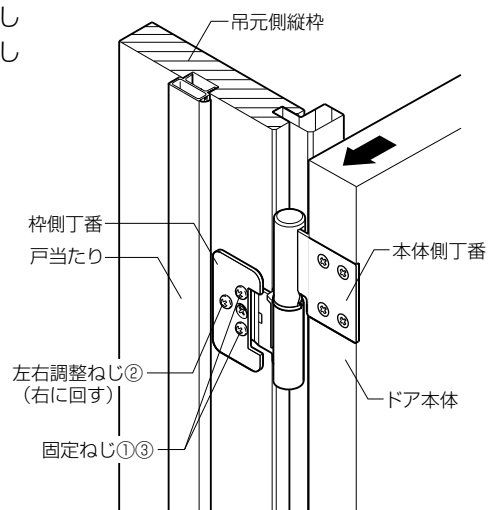
②ドアの開き側が枠に当たる。



(調整範囲 吊元側1.5mm)

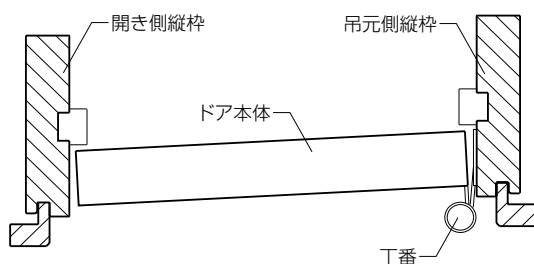
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。



不具合例

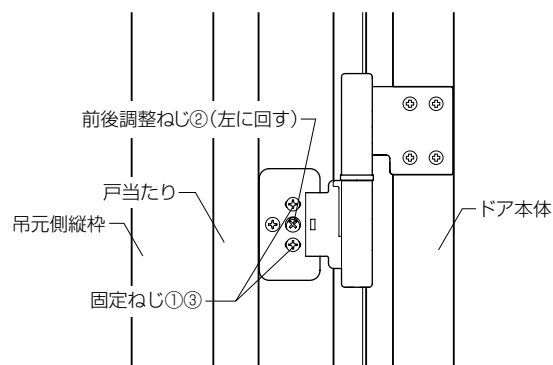
③開き側の枠が前に出ている。



(調整範囲 前2mm)

調整方法

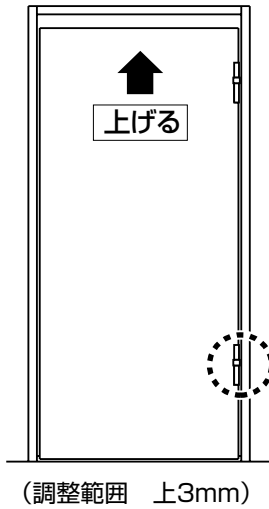
- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。



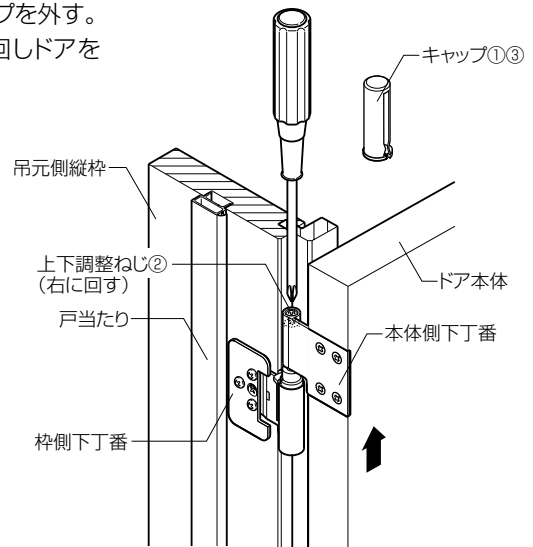
不具合例

調整方法

④ドアの下部が枠に当たる。



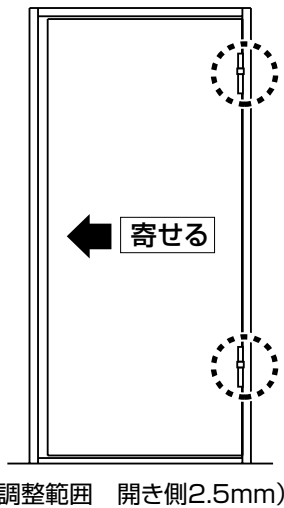
- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。



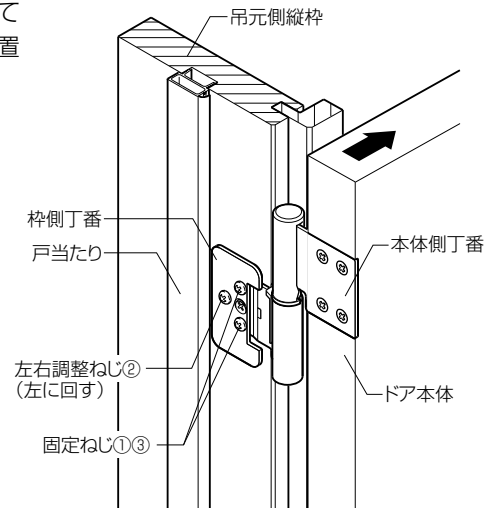
不具合例

調整方法

⑤ドアの開き側のすき間が大きすぎる。



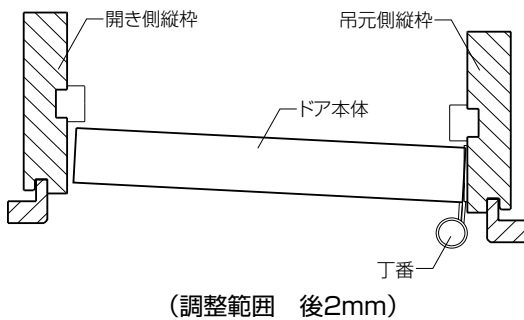
- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。



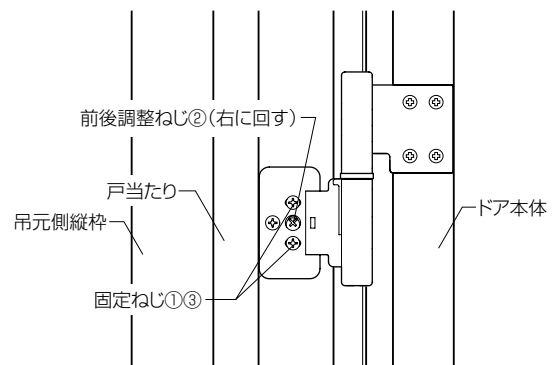
不具合例

調整方法

⑥吊元側の枠が前に出ている。



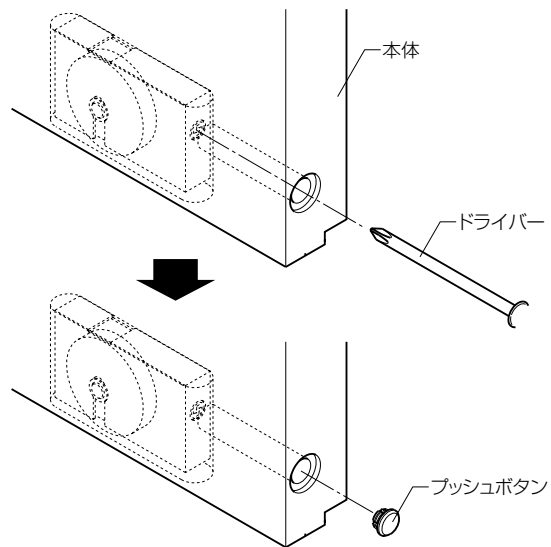
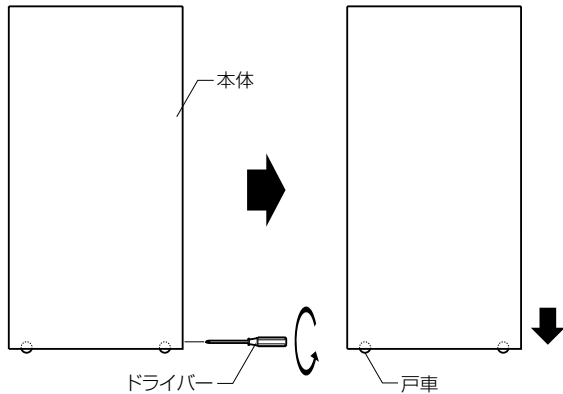
- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。



戸襖引戸 調整方法について

本体の建付け調整

- 本体の戸車には、上・下調整機能が付いています。プッシュボタンを外し、ドライバーで建付け調整をしてください。調整幅は+1、-2mmです。右に回すと本体が下がります。調整後、プッシュボタンをはめ込んでください。

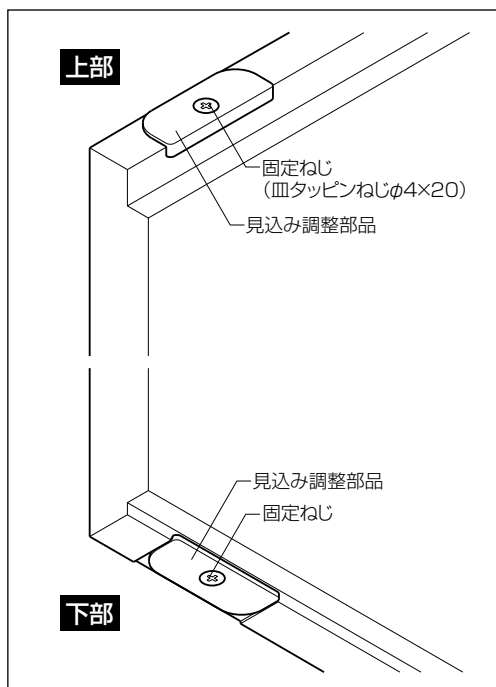


⚠ 注意

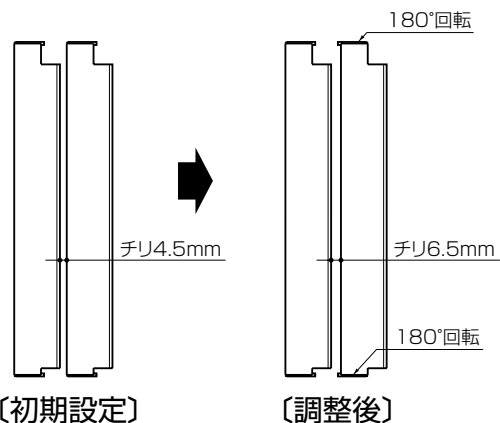
- 本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あることを確認してください。本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になったり、本体と枠の間にすき間が生じたりします。
- 本体に寄りかからないでください。本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

本体見込方向のチリ調整

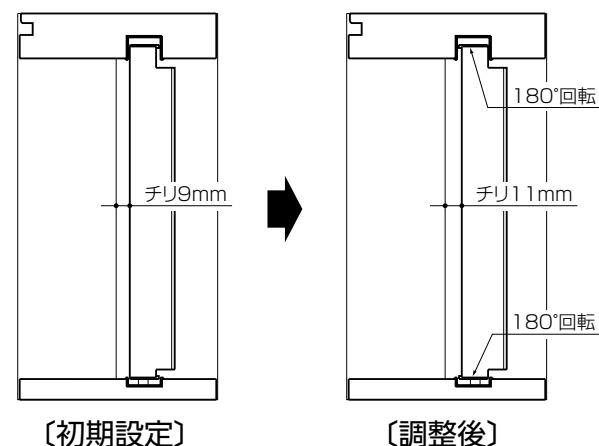
- 本体の戸首には、見込み方向のチリ調整機能が付いています。固定ねじをゆるめて、見込み調整部品を180°回転し、固定ねじで締付けて調整してください。



①引違い戸で、建具本体同士が当たる場合。



②片引き戸で、建具が中縦枠に当たる場合



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にご相談ください。

■対象商品	リビング建材商品
■保証期間	施工者よりの引渡し日<注1・注2>から2年間(電装部品については1年間)。 <注1>改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。 <注2>分譲住宅(建売住宅)の場合は、建築主さまへの引渡し日とします。
■保証内容	取扱い説明書・本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き、無料修理いたします。
■免責事項	保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。 ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など) ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合 ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合 ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩擦など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合 ⑤自然環境や住環境に起因する結露などの不具合 ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合) ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合 ⑧施工当時実用化されてた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合 ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害 ⑩引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合 ⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合 ⑫本来の使用(一般住宅用)の目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合 ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にお問合わせください。

MAK-555B
FV96
2007年11月1日発行



トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。